

令和2年第1回定例会 報告!

令和2年2月17日～3月25日(会期38日間) 主な質疑応答は以下の通りです。

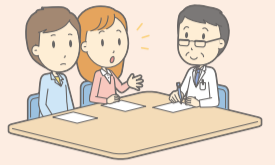
質問 災害時の避難所の情報共有を急げ

答弁 台風19号の課題として、災害対策本部と避難所の情報伝達の課題が見えてきた。通信網の対策として地域限定の独自のインターネット網を利用した通信網の整備を進め、迅速かつ的確な情報連絡体制の構築を進めていく。



質問 不妊・不育症への支援の推進を

答弁 4月から始まる区独自の不妊治療支援制度も含めて、不妊・不育症に関する助成制度や相談窓口をより多くの方々に利用していただき、悩んでいる方へ寄り添いながら支援していきたい。



質問 コミュニティ交通実施に向けての取り組みについて

答弁 来年度は、導入区域の選定、導入実施計画・収支計画を作成し、先行してモデル地区への導入手段を検討していく。自律走行バスの導入については先行自治体での検証結果を見て検討する。



質問 今後の受動喫煙防止対策の推進を

答弁 「江戸川区歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例」を改正し、主要駅周辺に屋外喫煙所を整備し、当該駅周辺を「受動喫煙防止重点区域」に指定し、受動喫煙防止を図る。



質問 eスポーツのさらなる振興を

答弁 eスポーツは誰もが主人公となり活躍ができる「共生社会」の一助になると期待される。共有プラザ全館ではゲーム事業を展開しており、今後もeスポーツ振興の具体策を研究していきたい。



質問 「江戸川区食品ロス削減推進計画」の策定、フードドライブの常設と区内循環の仕組み作りを

答弁 推進計画は策定していく。フードドライブの常設回収は令和2年度から、えどがわエコセンターで実施する予定であり、フードバンクを通じて区内の支援が必要な家庭などに届くようにしていきたい。



令和2年度予算で区議会公明党の要望が実現!!

区議会公明党は、今回の予算特別委員会で具体的な提案も含めて令和2年度予算案を審査し、数多くの要望を実現致しました。今回の江戸川区令和2年度予算では、かねてから区議会公明党が提案・要望してきた国際的な目標である「SDGs」の17のゴールに分類し展開する事となりました。



給食費の保護者負担軽減!

給食費の改定に伴う保護者負担の軽減を図るため食材費の一部補助を行います。

- 全児童・生徒に1人当たり月額200円(令和2年度)
- 就学援助制度の一部を拡大し、第3子以降の給食を無償化(所得制限あり)



全国初!! 特別養護老人ホーム待機者対策

特別養護老人ホーム待機者解消のため、介護付き有料老人ホームの空床を活用し、居宅費の差額の1/2を区が補助します。(上限7万円/月)

自転車保険(区民交通傷害保険制度)の導入

対象: 令和2年7月1日時点で区内在住・在勤・在学の方
 保険期間: 7月1日～令和3年3月31日
 申込期間: 5月1日(金)～6月19日(金)
 申込方法: 下記の区内指定金融機関で配布している申込書に必要事項を記入し、窓口で保険料をお支払いください。

区内指定金融機関

ゆうちょ銀行、郵便局、金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協)
 詳しくは区ホームページをご覧ください

コース名	一時払い保険料(年間)	最高保険金額	
		交通障害	自転車賠償
A	1000円	150万円	なし
B	1700円	350万円	
C	2900円	600万円	
AJ	1400円	150万円	1億円
BJ	2100円	350万円	
CJ	3300円	600万円	

全国初!! 長期育児休業支援補助 江戸川区独自!!

待機児童解消を図るとともに、2歳以降の育休取得を可能にするため、区内事業者や育休取得者(区民)を支援。

- 事業者支援 求人広告費の1/2(最大50万円)
育休取得者と代替職員との賃金差の1/2を支給(年間最大150万円)
- 育休取得者 2歳以降も育休給付金と同水準(賃金の50%)の手当を支給



共育プラザのさらなる充実へ!!

共育プラザは、中高生の活動支援とともに「子育てひろば」も併設し、乳幼児やその保護者の育児支援、さらに全ての世代間交流を目的として多くの方が利用する施設です。区議会公明党は、空白地域への設置や民間活力の導入など、共育プラザの充実を要望して参りました。

●共育プラザ中央がグリーンパレスに設置されます!!

中央や葛西南部などの空白地域へ設置を要望して参りました。新年度から、「共育プラザ中央」がグリーンパレスに開設され、空白地域の一つが解消されました。

●「共育プラザ平井」、「共育プラザ中央」の運営が民間委託に!!

民間の力をフル活用し、魅力ある「共育プラザ」を運営し、情報発信も積極的に行っていきます!

●e-リビングの機能が拡充!!

「共育プラザ平井」と「共育プラザ中央」の2館では「e-リビング」の機能を設置し、不登校や不登校気味など支援が必要な子どもたちを受け入れ、丁寧に寄りながら生きる力を育む場所となります。

